

総務省職員はアフリカでも勤務しています



■ 仕事の内容

アフリカで初の地デジ日本方式採用国

私は現在外務省に出向し、在ボツワナ日本国大使館で勤務しています。担当分野は、経済協力全般で、特に技術協力、無償資金協力、そしてセクター別で主に情報通信も担当しています。JICA現地事務所とボツワナの開発課題について議論しながら、日本のプレゼンス向上も考慮し、ボツワナの開発支援の案件形成に携わっています。

アフリカに総務省からの出向者？と驚かれる方がいるかもしれません。世界に欧州方式、日本方式、北米方式と3つの主要なデジタル放送方式がある中、ここボツワナは、アフリカで初めて日本方式を採用した国であり、今まさに国際期限内に間に合わせるべく地デジ化の取組を加速化しているところです。2013年7月、総務省は当地の大統領府放送サービス局との覚書に署名し、両省間の協力枠組みが合意されました。今はその内容を実行すべく、定期的にカウンターパートを訪問し、時には一日張り付きながらボツワナの地デジ化支援の検討を行っています。

■ 総務省について新規採用者へ伝えたいこと

活躍の場が広がります

入省して7年目に入ったところで在外公館赴任の話をいただきました。しかも行き先がアフリカ！最初は戸惑いが先行しましたが、よくよく調べてみると、結構発展していることがわかり、家族を連れて赴任することを決めました。着任後、当初の想像とは大違いにアフリカが発展していることに驚きました。世界は広い。まだまだ知るべき事が多いなと実感しています。

総務省が所掌とする情報通信は、ボーダーレスで、どんなに豊かな国でも貧しい国でも必要とされている技術です。マーケットは日本の国内だけではありません。日本企業が狙えるビジネスチャンスは外にもあり、特に途上国では、その可能性がより多く残されているような気がします。そんな業界に携わる行政官として、日本企業支援、産業振興の観点から活躍できる場は全世界と言えるのではないのでしょうか。外交官として働く機会も頂ける総務省は、国際展開の熱意あふれる方に打って付けの職場だと思います。

■ PRIVATE TIME

週末は家族で買い物に出かけたり、野生動物を見て癒やされたりしています。車で30分程のところに、自家用車で入場可能な自然保護区があり、野生のキリン、サイ、シマウマ、インパラ、ダチョウ等の大型草食動物を近くで見ることができます。日本では体験できないアフリカの醍醐味を感じる瞬間です！



■ PROFILE

Shinichi Sakurai

- 平成17年10月 総務省採用
総合通信基盤局国際部国際協力課
- 平成20年 7月 情報通信国際戦略局国際協力課
- 平成21年 7月 大臣官房総務課
- 平成23年 7月 情報流通行政局放送政策課
- 平成24年 5月 現職

とある 一週間

■ MONDAY

新聞を読みながら経済分析。電力問題、水の確保、まだまだインフラ開発が不十分と実感する。

■ TUESDAY

当地外務省のカウンターパートと打ち合わせ。日本への支援要請がたくさん出てきて大変。

■ WEDNESDAY

日本からの民間企業の出張者と打ち合わせ。現地情勢についてブリーフィングを行う。

■ THURSDAY

JICA支所を訪問し、来年度案件について意見交換。効果的な支援とは何だろう…。

■ FRIDAY

市内で開かれている開発経済のワークショップに参加。参加者との議論も重要です。

地方自治体

関係機関

海外

留学